



発行所
公益財団法人兵庫県消防協会
神戸市中央区下山手通4丁目16番3号
編集発行人 岸 谷 義 雄
題字 井 戸 知 事

無事故へと
気持ち集中
はっつけよい

平成二七年 春の叙勲(消防関係)伝達式が挙行

平成二七年春の叙勲が四月二十九日に発令されました。叙勲の受章者(消防関係)は、全国で六一一名、うち兵庫県では、元消防団員・職員二〇名が叙勲の栄に浴されま

した。受章された方々は、永年にわたり国民の生命、身体及び財産を火災等の災害から防御するとともに、幾多の災害に

対して、率先垂範して敢然と立ち向かわれ、地域の安全・安心の確保に尽力されました。また、消防力の強化、充実に努めるとともに、消防の発展に貢献し、社会公共の福祉の増進に寄与されたこと等、これまでの抜群の功績により、その栄誉に輝かれました。

今回の叙勲の伝達式は、平成二七年五月一日(木)午前十一時一五分より東京・虎ノ門の日本消防会館ニッショーホールにおいて執り行われ、代表者に叙勲が伝達されました。午後から受章者の方々は皇居へ参入、拝謁した後、記念撮影が行われました。なお、全国の消防関係受章者数、勲章別内訳及び本県の受章者は次のとおりです。

〈全国消防関係受章者数〉

瑞宝中綬章	一名
瑞宝小綬章	二〇名
旭日双光章	一名
瑞宝双光章	一〇六名
瑞宝单光章	四八三名
計	六一一名



伝達式

兵庫県下受章者(消防関係)

◎瑞宝小綬章
元神戸市
消防正監 辻井 章



◎瑞宝双光章
元豊岡市日高消防団
団 長 長岡 健美



元三田市消防団
分団長 馬場 俊彦



◎瑞宝单光章
元赤穂市消防団
副団長 井筒 久治



元淡路市消防団
副団長 伊藤 建美



元川西市消防団
団 長 大西 信昭



元西宮市消防団
分団長 岡本 久一



元姫路市飾磨消防団
分団長 肥塚 好隆



元神戸市西消防団
副団長 澁谷富喜男



元高砂市消防団
分団長 高安 剛輝



元新温泉町消防団
副団長 田中 薫



元上郡町消防団
副団長 段上 裕幸



元尼崎市消防団
分団長 辻 邦博



元姫路市姫路西消防団
分団長 寺内 正義



元加古川市消防団
分団長 十倉 功



元三木市消防団
副団長 中口 勝



元神戸市北消防団
副団長 藤井 弘



元養父市消防団
副団長 藤原 茂



元明石市消防団
分団長 藤原 義信



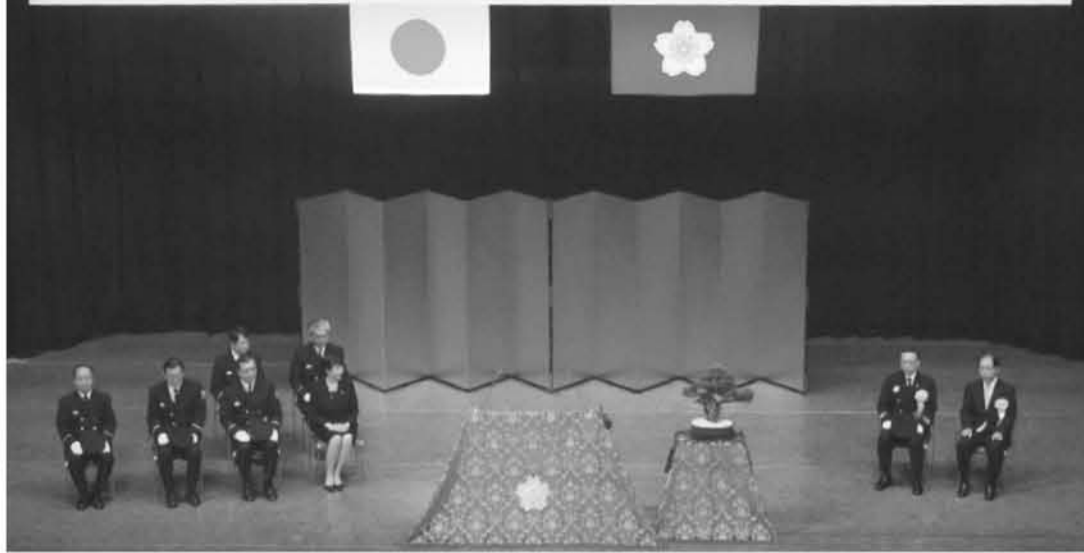
元豊岡市豊岡消防団
副団長 宮下 晃



受章者の皆さん

消防関係叙勲伝達式

消防 庁



伝達式

叙勲の榮に浴された方々は、消防職員として国民の生命、身体及び財産を火災等の災害から防御するため、永年により著しく危険性の高い業務に精励するとともに消防力の強化、充実に尽力され、消防

の発展に貢献し、社会公共の福祉の増進に寄与されました。今回の叙勲の伝達式は、平成二七年五月一日(月)午前一時一五分より東京・日比谷公会堂において執り行われました。

第二四回危険業務従事者叙勲が 平成二七年四月二九日に発令

受章者は、全国で瑞宝双光章三三〇名、瑞宝単光章二九二名、計六二二名、うち兵庫県関係では、二二名の元消防職員の方々が受章されました。

兵庫県下受章者(消防関係)

- ◎瑞宝双光章
 - 元加古川市 消防司令長 天野 和雄
 - 元姫路市 消防監 飯塚 眞一
 - 元神戸市 消防監 喜多 康夫
 - 元姫路市 消防監 木原 義則
 - 元神戸市 消防監 小西 友紀
 - 元伊丹市 消防正監 佐々木憲治
 - 元美方郡広域事務組合 消防司令長 田中 音幸
 - 元相生市 消防司令長 田中 耕作
 - 元西宮市 消防監 中倉 清
 - 元西宮市 消防監 野田 善治
 - 元加東市 消防司令長 藤田 久夫
 - 元明石市 消防監 藤本 善政
 - 元六粟市 消防司令長 森蔭 忠男
 - 元尼崎市 消防司令長 森本 勝行



受章者の皆さん

- ◎瑞宝単光章
 - 元川西市 消防司令長 神場矢健二
 - 元西脇多可行政事務組合 消防司令長 黒田 一夫
 - 元三田市 消防司令 小谷 孝良
 - 元芦屋市 消防司令 平野 憲一
 - 元養父市 消防司令長 松原 英男
 - 元神戸市 消防司令長 三谷 浩一
 - 元神戸市 消防司令長 森 一正
 - 元豊岡市 消防司令 森下 俊二

平成二七年 安全功労者内閣総理大臣表彰



内閣総理大臣表彰式(右から二人目が岸本会長)

平成二七年七月一日(水)、国民安全の日に合わせて、平成二七年安全功労者内閣総理大臣表彰式が、総理大臣官邸大ホールにおいて執り行われ、平成二七年度における受賞者は、個人の部四名、団体の部二団体となりました。

岸本 正子
(加古川市婦人防火クラブ
連合会・会長)

婦人防火クラブ連合会岸本会長が受賞者を代表して受領しました。

県下の受賞者は次のとおりです。(敬称略)

平成二七年度 安全功労者・消防功労者 総務大臣表彰式

平成二七年七月六日(月)
午前一一時より、スクワール
麴町にて、平成二七年度安全
功労者・消防功労者総務大臣
表彰式が高市総務大臣の出席
のもと、盛大に執り行われま
した。

表彰式では、高市総務大臣
から式辞、表彰状授与が行わ
れました。

県下の受賞者は次のとおり
です。(敬称略)

○安全功労
JX日鉱日石エネルギー
株式会社尼崎油槽所
高羽防災福祉協議会
天満婦人防火クラブ

○消防功労
蔭山 裕昭
(佐用町消防団・副団長)
浄慶 康治
(養父市消防団・団長)



消防関係総務大臣表彰式
総務省 消防庁



消防関係総務大臣表彰式
総務省 消防庁

受賞者の皆さん



▲受賞者の皆さん



◀小川団長

平成二七年五月一八日
(月)一四時から、兵庫県公
館において、平成二七年兵庫
県功労者表彰が挙行されまし
た。

表彰は、二二の功労分野に
わたり二二六名の方が受賞さ
れました。

そのうち、消防功労では消
防関係者六名が受賞され、消
防功労の受賞者を代表し、洲
本市消防団の小川団長が井戸
知事から表彰状を授与されま
した。

- ◎消防関係
- 洲本市消防団 小川 宏行
 - 元尼崎市消防局 本田 良生
 - 元姫路市消防局 櫻井 臣義
 - 消防監 櫻井 臣義
 - 尼崎市消防団 島田 幸司
 - 西宮市消防団 松本 俊治
 - 相生市消防団 松原 季則

なお、受賞者の方々は次の
とおりです。(敬称略)

平成二七年 兵庫県功労者表彰式挙行

熱中症予防のために

暑さを避ける

- 室内では・・・
 - 扇風機やエアコンで温度を調整
 - 遮光カーテン、すだれ、打ち水を利用
 - 室温をこまめに確認
 - WBGT値も参考に
- 外出時には・・・
 - 日傘や帽子の着用
 - 日陰の利用、こまめな休憩
 - 天気の良い日は、日中の外出をできるだけ控える

からだの暑熱を避けるために

- 通気性のよい、吸湿性・速乾性のある衣服を着用する
- 保冷剤、氷、冷たいタオルなどで、からだを冷やす

※WBGT値：気温、湿度、放射（日照）熱の合計から算出される暑さの指標。運動や作業の負荷に応じて作業時間の決められます。環境省のホームページ（熱中症予防情報サイト）に、熱中症と予防情報が掲載されています。

こまめに水分を補給する

- 室内でも、外出時でも、のどの渇きを感じなくても、こまめに水分・塩分、経口補水液などを補給する
- ※よほど暑いとアトリエを避けたら

「熱中症」は、高温多湿な環境に長時間いることで、徐々に体内の水分や塩分のバランスが崩れ、体温調節機能がうまく働かなくなり、体内に熱がこもった状態になります。暑さだけではなく、湿度も関係しています。脱水状態になったり、場合によっては死に至ることもあります。熱中症について正しい知識を身につけ、体調の変化に気をつけるとともに、周囲にも気を配り、熱中症による健康被害を防止しましょう。



熱中症の症状

- めまい、立ちくらみ、手足のしびれ、筋肉のこむら返り、気分が悪い
- 頭痛、吐き気、嘔吐、倦怠感、虚脱感、いつもと様子が違う
- 重症になると、
- 意識がおかしい、意識消失、けいれん、からだが熱い

詳しくは、厚生労働省ホームページ「熱中症対策情報」をご覧ください。



厚生労働省熱中症予防のリーフレット

熱中症を防ぐために

昨年の夏は、熱中症による健康被害が多く報告されました。報道等でも取り上げられていますが、今年も熱中症により搬送される方が多数発生しています。

気象庁の発表によれば、今年の夏（六～八月）の平均気温は平年並みか平年より高い予報となっております。気温の高い日が続くこれからの時期に備えるため厚生労働省において予防啓発・注意喚起のリーフレットが作成されました。

「熱中症」とは、高温多湿な環境に長くいることで、徐々に体内の水分や塩分のバランスが崩れ、体温調節機能がうまく働かなくなり、体内に熱がこもった状態のことを言います。症状としては、めまい、吐き気、倦怠感などで、重症になると意識障害を発生させるなど、命に関わる病気です。

室外だけでなく、室内においても環境条件や体調によって熱中症になる場合もありますので、注意が必要です。

熱中症はこまめに水分を補給したり、暑さをさげたりするなど適切な予防を行うことで避けることができます。

暑い夏を元気に過ごすため、熱中症のことをよく知り、しっかり予防しましょう。

なお、熱中症対策リーフレットは厚生労働省のホームページ上で確認できるほか、熱中症にまつわる情報についても閲覧できますので、是非ご確認ください。



厚生労働省ホームページ

<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000086895.html>

熱中症を防ぐために

～皆さまに取り組んでいただきたいこと～

熱中症の発生は7～8月がピーク！！

熱中症とは・・・

- 熱中症の症状
 - 筋肉痛、大量の発汗、吐き気、倦怠感など
 - 重症になると意識障害などが起こります。
- 体調不良など個人の体調により、熱中症の発生が高まります。
- 室内で特に何もしていなくても熱中症を発症することがあります。

急に暑くなった日は特に注意！

熱中症の予防法

室内にいるときも注意が必要！

熱中症の予防には、「水分補給」と「暑さを避けること」が大切です！

水分・塩分補給

- こまめな水分・塩分の補給
- ※のどの渇きを感じなくても、こまめに水分補給を

体調調節をするために

- こまめな体温測定
- 通気性の良い、吸湿・速乾の衣服着用
- 保冷剤、氷、冷たいタオルなどによる体の冷却
- 日頃から運動習慣をもち、体温調節の働きを高めておく

熱中症になりにくい室内環境

- 扇風機やエアコンを使った温度と湿度調整
- 室温が上がりにくい環境の確保（こまめな換気、遮光カーテン、すだれ、打ち水など）

外出時の注意

- 日傘や帽子の着用
- 日陰の利用、こまめな休憩と水分補給
- 通気性の良い、吸湿・速乾の衣服着用
- 天気の良い日は昼下がりの外出をできるだけ控える

エアコンを稼働中に我慢していると熱中症につながる恐れがあります。

兵庫県版告知チラシ



フェイスブック「ひょうご防災活動の日」のイメージ

「ひょうご防災活動の日」のフェイスブック開設について

ひょうご安全の日推進県民会議では、毎月十七日を「防災活動の日」として、構成団体を通じて県民に防災・減災の取組みの具体的な実践を呼びかけています。

このたび、県民の防災・減災に対する関心を高め、実践につなげてもらうため、具体的な防災活動の実践例や防災・減災関連の情報を発信するフェイスブック「ひょうご防災活動の日」を左記のとおり開設します。

1 概要

①開設内容

ひょうご防災活動の日

②開設日

平成二十七年七月一日

③発信者

ひょうご安全の日推進県民会議（事務局：兵庫県復興支援課）

④発信内容

① 防災活動の実践例（毎月一七日）
過去の各月の災害事例

等から、その月に耐震化・室内安全・備蓄・避難等県民に具体的に実践してほしい防災活動を毎月十七日に発信し、実践を呼びかけます。

②防災・減災関連情報（毎月三回程度）

毎月七のつく日を中心に、県提供防災関連番組の案内、南海トラフ巨大地震津波浸水想定図等減災関連情報、ひょうご安全の日推進事業（助成金や東日本大震災県内避難者支援事業等のイベント情報等）を発信

③アドレス

インターネットから「ひょうご防災活動の日」から検索

2 活用

・時季にあつた具体的な防災情報をタイムリーに発信し、県民の実践活動につなげる
・フェイスブックの「いいね！」機能を活用して、防災・減災の情報を多くの閲覧者と共有する



平成二七年度第一回 女性消防団員技術研修会

(公財)兵庫県消防協会

平成二七年七月一日
(土) 兵庫県消防学校にて今年度一回目の女性消防団員技術研修会が開催され、県内から一〇名の女性消防団員が参加しました。

研修内容については、講演会とHUG(避難所運営ゲーム)の実践という二本柱で開催しました。



参加者の間で語りかけられる長谷川先生

まず午前中の講演会では、リスクウォッチ代表の長谷川祐子氏に「女性消防団のためーNEXT STAGE」と題して講演していただきました。

長谷川先生は、平成二三年度にも当協会の女性消防団員研修会へ講師としてお越しいただいたことがあります。

その当時と同様、この度も参加者に大変好評でした。「自分の身は自分で守る」ということは、「知る」ことから始まります。「知識」を持つていくことにより、危機管理能力が高まること、それを伝えていくことの大切さを語って下さいました。女性消防団員にできることを分かりやすく示して下さい、子供達に伝えられることを具体的に語って下さったことが、参加者にとつてはとても有意義であったようです。

防火防災の予防広報は、女性消防団員の役割で大きな柱の一つと言えます。幼稚園や小学校での活動も多い中で、効果的に伝える技術や内容を



講義中の長谷川先生



具体的に示していただくことは、今後の活動の大きな糧になります。この度の講演を経て、より多くの女性団員の活動内容が深まり、地域住民の危機管理の意識が高まることを期待します。

次に午後からのHUG(避難所運営ゲーム)は、兵庫県防災士会の栗田政志氏をはじめとする五名の防災士の皆さんにご指導いただきました。まず「難しい」という感想が圧倒的に多く見られました。避難所には、様々な事情を抱えた人々が集まります。しかも非常時であるため、精神状態も通常とは異なり冷静ではいられない中、瞬時にたくさんの方の判断しなければなりません。ゲームの中でも難しい状況なのに、これが現実であれば、もっと混乱した中で避難所を運営しなければならぬのです。過去に震災などで被災された女性消防団員の方々も、今回初めて避難所運営の難しさを知ったという方が多くおられました。今回のHUGは、短時間で初級編というだけで行いましたが、避難所運営の大変さや課題、日常的に準備しておかなければならないこと、心構えなど、参加者が考えるきっかけになったと思います。この経験と課題を所属消防団へ持ち帰り、地域の自主防災組織や行政と連携しながら、万が一に備えていただければと考えます。

この度も、参加された女性消防団員の皆さんは、とても意欲的に学ばれておりました。また、班別行動により他団との交流も図っていただくことができましたようにです。

この度の研修会参加消防団は次のとおり。

消防団員の皆さんが活動する上での指針を得ていただけるように、女性消防団員ならではの活動を提案し、その入口を示すことにより、知識を深めるきっかけを作ることができればと考えています。今後も多くの女性消防団員が「参加したい!」と思えるような研修会を企画し、新しい情報を提供・共有したいと思っております。今後とも積極的なご参加をよろしくお願いたします。

※上記参加者他、県内消防本部職員・市町防災担当職員三二名

- ・神戸市灘消防団
- ・神戸市中央消防団
- ・神戸市北消防団道場支団
- ・神戸市北消防団長尾支団
- ・神戸市北消防団淡河支団
- ・神戸市長田消防団
- ・神戸市垂水消防団
- ・姫路市姫路東消防団
- ・姫路市姫路西消防団
- ・姫路市飾磨消防団
- ・尼崎市消防団
- ・明石市消防団
- ・芦屋市消防団
- ・伊丹市消防団
- ・豊岡市豊岡消防団
- ・豊岡市出石消防団
- ・赤穂市消防団
- ・宝塚市消防団
- ・三木市消防団
- ・川西市消防団
- ・小野市消防団
- ・三田市消防団
- ・丹波市消防団
- ・南あわじ市消防団
- ・淡路市消防団
- ・たつの市消防団
- ・播磨町消防団
- ・佐用町消防団

この度の研修会参加消防団は次のとおり。

消防団員の皆さんが活動する上での指針を得ていただけるように、女性消防団員ならではの活動を提案し、その入口を示すことにより、知識を深めるきっかけを作ることができればと考えています。今後も多くの女性消防団員が「参加したい!」と思えるような研修会を企画し、新しい情報を提供・共有したいと思っております。今後とも積極的なご参加をよろしくお願いたします。

消防団員の皆さんが活動する上での指針を得ていただけるように、女性消防団員ならではの活動を提案し、その入口を示すことにより、知識を深めるきっかけを作ることができればと考えています。今後も多くの女性消防団員が「参加したい!」と思えるような研修会を企画し、新しい情報を提供・共有したいと思っております。今後とも積極的なご参加をよろしくお願いたします。



班別にHUGを実践中



HUGの説明を聞く参加者

消防団。ピックアップ

Pick Up!

『春の大園遊会を開催しました』

芦屋市消防団

平成二七年五月一七日(日)一〇時から恒例の春の大園遊会が五月晴れの中、盛大に開催されました。

この催しは、主催 芦屋市総合公園の依頼を受け、本市消防団が協力している、春・秋の年二回行われるイベントです。

まず初めに消防団長から、各団員への激励のあいさつで幕を開けました。緊張した団員の中で未来の消防団員が一緒に敬礼をしている姿は、ほほえましく、未来への希望をうかがえる一コマでした。



敬礼!

AED体験コーナー、車両展示の内容は、放水・煙・AED体験コーナー、車両展示

示、消防団員募集コーナーのブースに分かれています。

煙体験コーナーでは、しり込みをするお子様もいましたが、消防団員のお兄さんがやさしく、逃げる方法を説明してくれるのを聞いて「ぼく、がんばる。」とハンカチを口に当て、煙の中に入っていく様子も、幼少期からこのような体験を積み重ねていくことで、いざ災害に見舞われた時でも対応できる防災力を養うことが出来るでしょう。

AED体験コーナーでは、女性消防団員が主体となって指導にあたり、たくさんの方にAED、心臓マッサージの重要性を知っていただくことが出来ました。

催しの中でも特に人気なのが、放水体験コーナーです。放水の的は、消防団員自らが作成、的を簡易水槽の中に入れ、放水した水が簡易水槽に溜る仕組みとなっており、簡易水槽から取水した水を水中ポンプで防火水槽に戻すといった合理的な方法で行っています。



放水体験

ある団員は「子供のキラキラとした素敵な笑顔を見ることができ、休日に、消防団活動に参加し、やりがいを感じる。消防団員でよかった。」と語ってくれました。

消防団員募集コーナーでは、団長自らが入団希望者に対して芦屋市消防団の活動内容、活動手当などについて懇切丁寧に説明され、団員の確保に努めておられました。過去には、このイベントに参加したご夫婦が揃って入団されたケースもあります。

最後になります。芦屋市消防団は、さまざまな催し、自主防災訓練等に積極的に参加し、地域と密着した活動を積み重ねていくことで、大災害に立ち向かっていく体制を確立していきます。



団員募集コーナー

『夜間訓練でスキルアップ』

神戸市北消防団淡河支団



淡河町公園に部隊集結

神戸市北区は神戸市の行政区で最も面積が広く神戸市全体の四四パーセントをしめています。この北区を管轄する神戸市北消防団は八つの支団で組織され、私が所属する淡河支団(支団本部・九分団一五班、二五八名、小型動力ポンプ積載車一五台)は北区の北西端に位置する神戸市北区淡河町をエリアとして活動しています。



消防団指揮所

淡河町は山に囲まれた自然豊かな地域ですが、残念ながら消防署に遠く「我々の地域の安全は我々が守る」という郷土愛護と自主防災意識が非常に強く、有事出動を想定した地域に密着した活動に取り組んでいます。

特に最近では、夜間有事を想定した訓練を実施しています。その理由は、災害出動がた地域に密着した活動に取り組んでいます。

また、消防団の中における本部、分団の役割の確認や課題の抽出にも非常に役立つと考えており、これからの地域の安全安心を守る消防団として実災害に即した訓練を計画して消防団としてのスキルを高めていきたいと思っています。

夜間に多く、夜間の安全確保・安全確認が難しいなどです。

この訓練は三年前から福祉施設と連携して、スムーズな消火活動と福祉施設入所者の避難誘導も合わせてできるように淡河支団独自で訓練を実施しています。

訓練の特徴は

- ①夜間に行う。
- ②事前の打ち合わせはほとんどしない。
- ③本部からの指揮命令は無線で行う。

夜間訓練は例年一月頃に実施しており、昨年の訓練では分団には日時・場所だけの想定を与えておき小型動力ポンプ積載車で出動させ、消防団現場指揮所(支団本部)では現場到着した分団順に、避難誘導を最優先にポンプの設置とホース延長を指示。

出火想定建物の福祉施設内では警報機発報とサイレンが鳴り、館内放送と施設職員による入所者の避難誘導が行われているところへ誘導補助に団員が参加し、スムーズな避難誘導を行い、全員が避難完了できたところで支団長から講評があり夜間訓練を終了しました。

団員間の連絡や支団本部からの指揮命令等はすべてトランシーバーが携帯無線で行っており、貸与された資器材の使用熟練にも役立つ訓練となっています。



避難誘導 (担架搬送)



避難誘導 (担架搬送)



中継ポンプ



ホース延長 (中継送水)

わが町の団長さん

「時代に即応」

高砂市消防団

石原 和彦



高砂市は、県南東部の播磨沿岸地域の中にあつて、姫路市と加古川市の中間に位置しています。県内最大の河川である加古川の河口に隣接し、播磨灘に

面する当市は、加古川の豊かな水利が優れた景観、肥沃な土地となつて市民生活の大きな源となつているとともに、古来より商港として播磨地域の中心的役割を担つてきました。高砂市消防団は、一市一団七分団、定員六七五名で構成され、消防ポンプ自動車七台、団本部に資機材搭載型車両一台、防災活動車一台及び小型動力ポンプ三二台で高砂市の安心安全を確保するため、日々精励しています。

石原団長は、昭和四十六年四月一日に入団され、分団長、副団長を歴任後、平成二六年七月一日、第七代高砂市消防団長に就任されました。団長就任以来、幹部会議及び、消防団の各種行事や訓練には必ず出席し、存在感を示されています。近年、消防団員のサラリーマン化が進んでいます。平日昼間における災害時での団員の確保及び地域防災力の向上には、団員の活動環境を整えることが一番の近道との考えから、団長は、消防団協力事業所表示制度を押し進められ、自ら事業所へ出向き、消防団への理解・協力を依頼されています。また、消防団活動において

は、消防団員としての規律を重んじ、災害、訓練現場では厳しい態度で接しておられますが、普段は、団員への気配りも人一倍細やかな方で、幹部・若手を問わず信頼が厚い団長です。今後、地域の防火・防災のリーダーとして、なお一層のご活躍が期待されています。



われら若手消防団員

～消防団に入団して～

篠山市消防団

第17分団第2部 伊藤 大樹



私が消防団に入団したきっかけは、職場の先輩からのお誘いでした。当時は社会人になって三年目、学生時代は運動系の部活動に所属していたものの、それほど体力には自信が無く、また仕事の部署異動も重なった時期でしたので、はじめは「社会人と消防団員を両立しているのだからか？」と不安を感じていたことを覚えています。初めて経験する消防団員としての活動は初体験の連続でした。ポンプの操作、ホースや消火栓の扱い方、小型ポンプ積載車の運転…。とにかく初めて尽くしのことばかりでしたが、先輩方の丁寧な指導のおかげで、少しずつですが技術を習得することができています。私が所属する第一七分団第二部の方々は、普段は本当にアットホームで、親しみやすい先輩ばかりですが、操法大会の練習や、火災や台風等の災害の際には、張り詰めた緊張



感のもと、機敏な動きで活動されています。そのような姿を目の当たりにして、いざ自分も先輩方に負けない活動ができるようになりたいと感じ、日々学ばせていただいています。そんな私も、消防団に入団してから今年で五年目を迎えます。その間、火災や台風、行方不明者の捜索等も経験しました。肉体的にも精神的にもつらいことがありましたが、同時に地域へ貢献しているという手ごたえも感じています。今後も、健康に注意しながら、仕事と消防団員の両立ができるよう精進していきたくと思っています。

がんばってます、女性消防団員

『ただいま 応急手当普及員として奮闘中!』

豊岡市豊岡消防団

『コウノトリ悠然と舞うふるさと』をまちの将来像に掲げ、地方の小さな都市であつても、世界の人々から尊敬され、尊重される「小さな世界都市」を目指し、環境と経済が共鳴するまちづくりを進める豊岡市。その豊岡市の中心部を管轄する豊岡市豊岡消防団に女性団員が誕生したのは平成一五年末のこと。



子どもたちにも教えます!

平成二三年一〇月に行われた第二〇回全国女性消防操法大会では、県代表として出場し、兵庫県勢としては平成七年以来の上位入賞を果たしました。そして現在は…

四月に加入したばかりの一名を併せ、七名が在籍。毎月の広報活動をはじめ、出初式や夏季訓練などに華を添えています。さらに、新人さんを除いたみんなが応急手当普及員の認定を受け、消防署員の方々と共に、地域で行われる救急講習会において指導や運営サポートを行っています。少しでも多くの企業や地域住民の方々に心肺蘇生法を知っていただき、市民一人ひとりが『大切な人を守る、強い豊岡市』になれるよう、今後もこの活動を広げていきたいと思っています。

企業で奮闘中!

企業で奮闘中! 少しでも多くの企業や地域住民の方々に心肺蘇生法を知っていただき、市民一人ひとりが『大切な人を守る、強い豊岡市』になれるよう、今後もこの活動を広げていきたいと思っています。



地域のお知らせ

姫路市香寺町

悠久の歴史が現在も息づく

香寺地域は、市川の豊かな流れに育まれ、太古の時代から集落が形成され栄えてきました。

地域の悠久の歴史と観光スポットについてご紹介します。

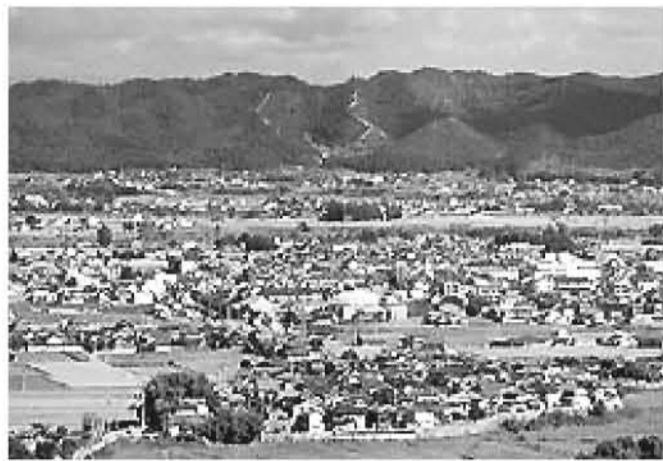
播磨地方中部の市川流域に位置する香寺町は、温暖な瀬戸内海型の気候に属しています。

西には四〇〇メートル級の山地まで変化に富んだ地形からなり、その歴史が育まれてきました。とりわけ、平野部では、縄文時代の遺跡の存在により、数千年前から人々が暮らし始めたと推定されます。

弥生時代になると、遺跡数が増加することから、いくつかの集落が形成されていたことが考えられます。また、古墳

時代では台地部を中心として片山古墳・法花堂古墳・宮ノ前古墳など、多くの古墳が点在し、集落をとりまとめた人々が登場したと考えられます。

古代律令制度下では、『播磨国風土記』にみえる的部(いくはべ)の里にほぼ比定され、近年まで犬飼から溝口にかけての平野部に条里制の跡が残されていました。溝口廃寺の存在も、はやくからこの地に仏教文化が浸透していたことを物語ります。



分は高岡南ノ庄・的部北条郷・須加院ノ庄に入り、中世半ばには赤松氏領となりました。町内に残されている恒屋城は、中世の山城の特徴をよく伝えていきます。その後、近世から廃藩置県までは、姫路藩領に属していました。

香寺民俗資料館

JR香呂駅の南東に、まるで時の流れから置き忘れられたかのようにひっそりと佇む香寺民俗資料館がある。「ひょうご住宅百選」にも選ばれた建物は江戸末期の豪商宅を移築したもので、館内には前館長の島津彌太郎さんが近畿一円から収集した様々な民具(暮らしの道具や器具)が展示されている。



日本玩具博物館

白壁土蔵造りの6棟の建物の中に、日本の郷土玩具、駄菓子屋の玩具、世界150カ国の玩具約8万点が収集され常設展のほか1号館と6号館の2つの建物で季節ごとの特別展が催される。規模内容から国内屈指の玩具博物館として全国に知られている。



いのち輝き 絆でつなぐ あいのまち

相生市

相生市は、南は瀬戸内海国立公園に面した風光明媚な海を擁し、北は県立自然公園を持つ緑豊かな大和歴史あふれる地域を持つ南北に細長い地形を有しており、JR山陽本線と山陽新幹線の相生駅、国道二号と二五〇号の二つの国道、道の駅・海の駅あいおい白龍城前の公共棧橋など多くの交通アクセスが備わったまちです。こうした環境を活かした、市の三大イベントは、五月に開催される長崎から伝来されたペーロン競漕、一月から二月に開催されるかきまつりが市内外から多くの来場者に楽しんでいただいています。

四季のイベント・見どころ情報

春

相生湾と播磨灘の絶景を楽しむことができる万葉の岬。遠くに淡路島、家島諸島、牛窓など瀬戸内海の島々があり、かつてこの地で山部赤人が歌を詠み、万葉集に収められました。一二〇〇年の旅愁を感じながら、艶やかに咲く椿や桜をお楽しみください。

夏

五月最終土・日曜日に開催される相生ペーロン祭。土曜日の前夜祭では、約五、〇〇〇発の花火が打上げられ、波音静かな相生湾をにぎやかに飾ります。日曜日には、ドラと太鼓のリズムに合わせ、水しぶきをあげる勇敢なペーロン競漕とメインストリートでは様々なパレードが行われ、遠方からもたくさんのお客様が訪れます。

秋

羅漢渓谷を中心に広がる西播磨県立自然公園、山に囲まれた溪流では、秋の紅葉と深山幽谷を味わえます。ひよ



水しぶきをあげる勇敢なペーロン競漕



約5,000発打ち上げられる花火

冬

うご森林浴場五〇選にも選定されており、珍しい草木や野鳥が無数に生息しております。また、十一月の第二日曜日には「羅漢の里もみじまつり」かがしコンテスト」が盛大に催されます。八〇〇メートルのかがしロードには、アイデアいっぱい約一、〇〇〇体のかかしが並び、皆様をお待ちしております。

雄大な自然に恵まれた海域・播磨灘の海水で育った海の幸「相生牡蠣」。特徴は一年でその身を膨らませる「一年牡蠣」。二年牡蠣や三年牡蠣と比べて火を入れても縮が少ないのが特徴で、毎年一月又は二月に行われる「相生か



相生かきまつりの様子

編集後記

暑い季節がやってまいりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。さて今月号では、春の叙熱をはじめ、各種表彰式の様子を掲載しております。受賞された皆様、誠におめでとうございます。紙面でも取り上げましたが、暑い日が続きますので、くれぐれも熱中症にはお気を付けてください。